

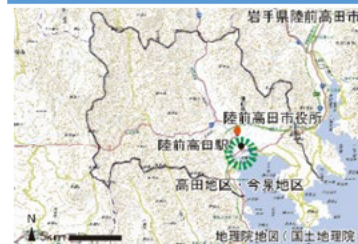
岩手県陸前高田市 柱Ⅰ・Ⅱ 「市内外のまちづくり団体等と連携した中心市街地の魅力の向上」

目的・背景

具体的な土地利用の実現に資するテナント立地・産業誘致、これからの官民連携のビジョンづくり・体制づくりを支援

- ・ 嵩上げ部、平地部の未利用地が多く残っていることが課題。
- ・ 友好都市である名古屋市の(株)ナゴノダナバンクと連携し、中心市街地魅力向上につながる“場”と“コンテンツ”の実証実験を昨年度に実施。
- ・ **官民連携**による、**まちなか再生**を進めるための**体制づくり**が課題。

位置図



航空写真



取組とその効果

- 1 地元の合意形成に基づいたテナント立地場所の設定と友好都市の連携によるなごやコンテンツ（味噌煮込みうどん）の店舗計画・事業計画、フランチャイズ方式による事業者募集の開始。（柱Ⅰ）**
- 2 新たなまちづくりに向けた機運の醸成とプラットフォームの構築。（柱Ⅱ）**
 - － 名古屋視察、なごやごはん等のアクションプランと連動した体制づくりの機運醸成
 - － まちなか会の名古屋視察等を通じた、ビジョンづくりの必要性の意識醸成
 - － 官民連携によるビジョンの策定に向けたキックオフミーティングを実施

取組の様子



産業まつりでの「なごやメシ」出店

取組経過

- 6～9月 (株)ナゴノダナバンクによる現地調査と合意形成（ヒアリング・アドバイス）を経て、テナント立地場所を設定し、「味噌煮込みうどん専門店」の事業計画・収支計画を検討
- 10～11月 「産業まつり」（10/22～23）での出店と事業者募集の広報活動の実施。まちなか会の名古屋視察（11/21～22）による官民連携の意識醸成
- 12～3月 「なごやごはん@たかたvol.2」（2/1～28）、「なごやフレンチスペシャルデー」（2/20）などの具体的なアクションとともに、官民連携の体制づくりとプレイヤーの発掘を実施

取組成果イメージ



着工予定の飲食店テナント及び将来テナント群イメージ



今後の方向性

- ・ 味噌煮込み店舗の着工・担い手発掘。新たなテナント創出。友好都市と連携したなごやコンテンツの継続的な活用推進(柱Ⅰ)
- ・ 官民連携プラットフォームによる、まちづくり未来ビジョンとアクションプランの策定(柱Ⅱ)



地元施設でのランチイベント



まちなか会でのビジョン検討